

令和7年9月11日

保護者各位

鳥栖市立田代小学校
校長 豆田 幸彦

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その調査結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和7年度全国学力・学習状況調査について

令和7年4月17日、下記のような内容で全国一斉に小学校6年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
調査問題では、①と②が一体的に問われています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校児童の姿

(1) 国語科について

国語科の平均正答率は、全国正答率をやや下回っていました。特に、「読むこと」について課題が見られました。観点別に見ると、「知識・技能」は、全国正答率を上回ったものの、「思考・判断・表現」について、全国正答率を下回りました。長い文章を読むことを苦手に行っていることや、言葉の意味を正しく理解できていないことが考えられます。

(2) 算数科について

算数科の平均正答率は、全国正答率を大きく下回りました。観点別に見ると特に、「思考・判断・表現」について、課題が見られました。領域別では、特に「変化と関係」、「データの活用」において、全国正答率を大幅に下回っていました。「変化と関係」については、10%が0.1倍、110%が1.1倍となることなどが理解できていないようでした。「データの活用」においては結論となる数値が読み取れていませんでした。

(3) 理科について

理科の平均正答率は、全国正答率を下回りました。特に、「思考・判断・表現」について課題が見られました。領域別に見ると「生命」において、顕微鏡を操作する問題について特に課題が見られました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

○全 71 の質問項目の一部について

質問項目	本校の割合	全国の割合
朝食を毎日食べていますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	91.3%	93.7%
学校の授業時間以外に、1日にどれ位の時間、勉強をしていますか。 (月曜日～金曜日) ※最も多い割合	30 分～1 時間	1 時間～2時間
自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する(文字・コメントを書くなど)ができると思いますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	75.3%	81.8%
インターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ができると思いますか。 [当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	83.9%	89.8%
将来の夢や目標をもっていますか。[当てはまる・どちらかといえば当てはまる]	93.8%	83.1%

- ・朝食を毎日食べている児童は、全国をやや下回っていました。児童の健やかな成長のため、「朝食」をとる習慣の定着へご協力をお願いします。
- ・学校の授業時間以外の勉強時間が全国を下回っていました。家庭学習については、プリントを配布して、一律で取り組む宿題、および個人で計画を立てて取り組む自由選択学習も取り組むようにしています。また、学習頑張り週間も実施して、家庭と一緒に取り組みました。今後も、児童が自分の課題を見つけながら取り組めるように指導していきます。
- ・PC・タブレットなどの ICT 機器を使って文章を作成すること、インターネットを使って情報を収集することができるようになってきています。今後、さらに学習の質が高まるように活用していきます。
- ・将来の夢や目標をもっている児童は、全国を上回っていました。これからも、児童が夢や目標を達成できるように、励ましていきます。

4 今後の改善策（児童の力をさらに伸ばすために）

- ・児童が主体的に学ぶことができるよう、タブレット等の ICT 機器を活用したり、授業の進め方を工夫したりしていきます。
- ・国語科では、図書室を積極的に活用させたり読書の幅を広げさせたりして、日常的に読書に親しませ、文章を読み解く力を養うようにしていきます。言葉については、国語辞典を積極的に活用して、意味調べに取り組ませ、言葉の意味を理解できるように指導していきます。
- ・算数科では、「10%増量」「30%引」など日常生活と関連付けた場面を取り上げるようにしていきます。また、表の中にある数値の意味を考えさせたり、図を使って説明させたりする場面を設定していきます。
- ・理科については、顕微鏡を含め理科の実験道具の使い方について、一人一人が実際に操作できるように指導していきます。
- ・家庭でも次のようなことに心がけてください。

1 家庭での学習環境を整え、学習時間を確保してください。

- ◎学習する場所や時間を決め、学習習慣を身に付けさせましょう。
- ◎興味があることは、資料やインターネット等で調べ、深く学習してみましょう。
- ◎学期のはじめにお渡しした学習の手引きを、ぜひ活用してください。

2 生活のリズムを整え、お子さんとのコミュニケーションの時間を大切にしてください。

- ◎「早寝・早起き・朝ご飯」で、元気とやる気の出る体と心を育てましょう。
- ◎お子さんががんばったことや良くできたことを、積極的にほめましょう。
- ◎家族の対話を大切にしましょう。